

資料編

目次

資料 1.	伊勢湾内の水浴場の水質調査結果（令和 6 年度）	資 1
資料 2.	漁業者ヒアリング結果	資 17
資料 3.	水質シミュレーション結果	資 23
3.1	水質シミュレーション（環境省モデル）	資 25
3.1.1	水質シミュレーション（環境省モデル）の概要	資 25
3.1.2	陸域汚濁負荷流出モデル	資 25
3.1.3	海域モデル（流動、水質－底質モデル）	資 26
3.2	水質シミュレーション（環境省モデル）の水質予測条件の設定	資 27
3.3	水質シミュレーション（環境省モデル）の結果	資 30
3.4	環境基準の達成状況の比較	資 34

資料1. 伊勢湾内の水浴場の水質調査結果（令和6年度）

表 1.1 伊勢湾内の水浴場（開設前）の水質調査結果

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜の有無	判定	水域区分	環境基準の水域類型
R6	愛知	新舞子 マリニパーク	<2～14 (5)	3.1～4.8 (4.0)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	C
R6	愛知	大野	<2～24 (10)	2.8～4.3 (3.7)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	B
R6	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～2 (<2)	2.3～4.3 (3.4)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	B
R6	愛知	坂井	<2～2 (<2)	2.4～3.2 (2.7)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	B
R6	愛知	奥田	<2～24 (6)	2.4～4.9 (3.8)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	A
R6	愛知	若松	<2～18 (7)	2.8～4.5 (3.5)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	A
R6	愛知	野間	2～18 (8)	3.0～4.0 (3.5)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	A
R6	愛知	小野浦	<2～<2 (<2)	2.6～3.2 (2.8)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	A
R6	愛知	内海	2～65 (24)	2.7～3.5 (3.0)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	A
R6	愛知	山海	<2～6 (2)	2.3～3.1 (2.7)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	A
R6	三重	千代崎	<2～<2 (<2)	1.6～2.4 (1.9)	>1～>1 (>1)	なし	水質 A A	海域	A
R6	三重	鼓ヶ浦	2～10 (5)	1.8～2.4 (2.1)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	A
R6	三重	御殿場	6～16 (9)	1.9～3.7 (2.8)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	B
R6	三重	香良洲	<2～2 (<2)	1.8～2.4 (2.1)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	B
R6	三重	松名瀬	<2～18 (10)	1.6～3.5 (2.5)	0.6～>1 (0.8)	なし	水質 B	海域	B
R6	三重	大淀	<2～10 (4)	1.8～3.2 (2.4)	0.6～0.8 (0.7)	なし	水質 B	海域	A
R6	三重	二見浦	<2～2 (<2)	1.1～2.4 (1.8)	0.5～0.9 (0.7)	なし	水質 B	海域	A
R6	三重	市営安楽島	<2～<2 (<2)	1.2～1.6 (1.4)	>1～>1 (>1)	なし	水質 A A	海域	A
R6	三重	鳥羽白浜	<2～6 (2)	1.0～1.9 (1.6)	>1～>1 (>1)	なし	水質 A	海域	A
R6	三重	千鳥ヶ浜	<2～12 (4)	<0.5～1.6 (1.2)	>1～>1 (>1)	なし	水質 A	海域	A
R6	三重	阿児の松原	<2～10 (5)	0.9～2.4 (1.5)	>1～>1 (>1)	なし	水質 A	海域	A
R5	愛知	新舞子 マリニパーク	<2～18 (4)	2.6～3.6 (3.1)	>1～>1 (>1)	なし	水質 B	海域	C

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
R5	愛知	大野	<2～26(9)	2.1～ 3.2(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R5	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～24(9)	2.2～ 3.0(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R5	愛知	坂井	<2～4(<2)	2.0～ 3.3(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R5	愛知	奥田	<2～<2(<2)	1.9～ 2.8(2.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R5	愛知	若松	<2～50(14)	2.3～ 3.8(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R5	愛知	野間	<2～38(10)	2.0～ 3.1(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R5	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	1.8～ 2.4(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R5	愛知	内海	<2～18(4)	1.7～ 2.4(2.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R5	愛知	山海	<2～34(7)	2.0～ 2.4(2.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R5	三重	千代崎	<2～4(2)	1.8～ 4.6(3.6)	0.5～ >1(0.9)	なし	水質 B	海域	A
R5	三重	鼓ヶ浦	<2～2(<2)	2.6～ 4.1(3.2)	0.6～ 0.7(0.6)	なし	水質 B	海域	A
R5	三重	御殿場	<2～26(11)	2.8～ 3.6(3.2)	0.6～ >1(0.8)	なし	水質 B	海域	B
R5	三重	香良洲	<2～6(3)	2.4～ 2.8(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R5	三重	松名瀬	2～4(3)	2.2～ 3.0(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R5	三重	大淀	<2～2(<2)	2.2～ 3.2(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R5	三重	二見浦	<2～6(2)	1.2～ 2.8(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
R5	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	<0.5～ 1.6(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R5	三重	鳥羽白浜	<2～4(2)	0.8～ 1.6(1.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
R5	三重	千鳥ヶ浜	<2～2(<2)	1.0～ 2.0(1.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R5	三重	阿児の松原	<2～4(<2)	<0.5～ 1.6(1.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R4	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～28(11)	3.1～ 6.7(4.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
R4	愛知	大野	<2～16(4)	2.5～ 3.6(3.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R4	愛知	りんくう 海浜緑地	4～340(88)	3.6～ 8.3(5.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 C	海域	B
R4	愛知	坂井	2～12(7)	2.5～ 6.8(3.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
R4	愛知	奥田	<2～8(3)	2.7～ 4.7(3.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	愛知	若松	<2～14(6)	3.5～ 4.1(3.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	愛知	野間	<2～12(3)	2.7～ 4.2(3.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	愛知	小野浦	<2～2(<2)	1.7～ 3.6(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	愛知	内海	<2～6(2)	2.4～ 3.5(2.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	愛知	山海	<2～4(<2)	2.2～ 3.0(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	三重	千代崎	<2～12(6)	2.0～ 2.7(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	三重	鼓ヶ浦	<2～14(7)	1.8～ 3.3(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	三重	御殿場	<2～16(7)	2.1～ 3.8(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R4	三重	香良洲	<2～4(2)	1.5～ 2.6(2.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R4	三重	松名瀬	<2～2(<2)	1.7～ 3.0(2.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R4	三重	大淀	<2～4(3)	1.8～ 3.0(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	三重	二見浦	<2～4(<2)	1.8～ 3.0(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R4	三重	市営安楽島	<2～2(<2)	1.7～ 2.1(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R4	三重	鳥羽白浜	<2～6(3)	1.6～ 2.2(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
R4	三重	千鳥ヶ浜	<2～2(<2)	1.7～ 2.0(1.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R4	三重	阿児の松原	<2～20(6)	1.8～ 3.3(2.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R1	愛知	新舞子 マリンパーク	12～130(47)	2.5～ 4.0(3.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
R1	愛知	大野	36～940(280)	2.8～ 5.9(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R1	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～2(<2)	2.3～ 3.2(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R1	愛知	坂井	<2～4(<2)	3.0～ 3.5(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R1	愛知	奥田	<2～2(<2)	1.2～ 2.2(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	愛知	若松	<2～2(<2)	1.2～ 2.5(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	愛知	野間	<2～34(6)	1.0～ 4.5(2.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
R1	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	1.2～ 2.1(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	愛知	内海	<2～<2(<2)	0.9～ 1.5(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	愛知	山海	<2～<2(<2)	1.2～ 1.6(1.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	三重	千代崎	<2～<2(<2)	1.5～ 4.3(2.9)	0.8～ >1(1)	なし	水質 B	海域	A
R1	三重	鼓ヶ浦	<2～<2(<2)	1.3～ 3.6(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R1	三重	御殿場	2～24(16)	1.8～ 3.8(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R1	三重	香良洲	<2～<2(<2)	1.3～ 3.4(2.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R1	三重	松名瀬	<2～6(3)	1.6～ 3.5(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
R1	三重	大淀	<2～8(4)	1.8～ 3.5(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
R1	三重	二見浦	<2～<2(<2)	1.1～ 2.4(1.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	0.7～ 1.7(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	三重	鳥羽白浜	<2～<2(<2)	0.5～ 2.1(1.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	0.7～ 1.7(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
R1	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	0.6～ 1.6(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H30	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～740(300)	2.4～ 4.2(3.5)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	C
H30	愛知	大野	4～920(410)	3.2～ 5.8(4.6)	全透～全透 (全透)	なし	水質 C	海域	B
H30	愛知	りんくう 海浜緑地	4～540(330)	4.9～ 5.5(5.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 C	海域	B
H30	愛知	坂井	<2～18(7)	2.8～ 5.3(3.7)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H30	愛知	奥田	<2～66(16)	2.5～ 4.9(3.1)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H30	愛知	若松	<2～12(4)	3.1～ 3.6(3.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H30	愛知	野間	<2～16(6)	3.0～ 3.9(3.5)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H30	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	2.7～ 3.8(3.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H30	愛知	内海	<2～44(14)	2.5～ 4.7(3.0)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H30	愛知	山海	<2～<2(<2)	1.8～ 3.0(2.4)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H30	三重	千代崎	<2～10(4)	3.1～ 4.1(3.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H30	三重	鼓ヶ浦	<2～12(5)	1.8～ 3.3(2.5)	0.9～ >1(1)	なし	水質 B	海域	A
H30	三重	御殿場	<2～18(12)	2.9～ 3.9(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H30	三重	香良洲	<2～6(3)	2.3～ 3.4(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H30	三重	松名瀬	<2～10(3)	2.3～ 3.5(2.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H30	三重	大淀	<2～16(6)	2.3～ 3.5(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H30	三重	二見浦	<2～2(<2)	2.2～ 3.1(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H30	三重	市営安楽島	<2～4(<2)	1.4～ 1.9(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H30	三重	鳥羽白浜	<2～2(<2)	1.5～ 1.7(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H30	三重	千鳥ヶ浜	<2～4(<2)	1.3～ 2.4(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H30	三重	阿児の松原	<2～2(<2)	1.1～ 2.2(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H29	愛知	新舞子 マリンパーク	2～22(13)	3.3～ 4.2(3.8)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	C
H29	愛知	大野	<2～140(27)	2.8～ 4.7(3.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H29	愛知	りんくう 海浜緑地	2～10(5)	4.2～ 18(7.0)	全透～全透 (全透)	なし	水質 C	海域	B
H29	愛知	坂井	<2～2(<2)	3.6～ 4.0(3.7)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H29	愛知	奥田	<2～20(6)	2.2～ 2.7(2.5)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H29	愛知	若松	<2～4(<2)	2.1～ 3.1(2.5)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H29	愛知	野間	<2～4(<2)	1.6～ 3.1(2.6)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H29	愛知	小野浦	<2～2(<2)	1.2～ 2.8(2.1)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H29	愛知	内海	<2～2(<2)	1.2～ 2.4(1.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 A A	海域	A
H29	愛知	山海	<2～8(<2)	1.1～ 2.2(1.8)	全透～全透 (全透)	なし	水質 A A	海域	A
H29	三重	千代崎	<2～30(14)	4.3～ 5.1(4.7)	0.6～ >1(0.9)	なし	水質 B	海域	A
H29	三重	鼓ヶ浦	5～110(40)	4.1～ 5.6(4.9)	0.6～ >1(0.9)	なし	水質 B	海域	A
H29	三重	御殿場	<2～20(9)	3.1～ 5.2(4.0)	0.5～ >1(0.88)	なし	水質 B	海域	B

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H29	三重	香良洲	<2～8(2)	2.7～ 5.4(3.7)	0.5～ >1(0.88)	なし	水質 B	海域	B
H29	三重	松名瀬	<2～6(3)	2.7～ 4.8(3.6)	0.8～ >1(0.95)	なし	水質 B	海域	B
H29	三重	大淀	<2～4(<2)	2.5～ 5.0(3.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H29	三重	二見浦	<2～2(<2)	2.4～ 3.1(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H29	三重	市営安楽島	<2～2(<2)	1.7～ 2.2(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H29	三重	鳥羽白浜	<2～2(<2)	1.4～ 1.9(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H29	三重	千鳥ヶ浜	<2～2(<2)	1.8～ 2.2(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H29	三重	阿児の松原	<2～2(<2)	1.8～ 1.9(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H28	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～95(29)	2.8～ 3.9(3.4)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	C
H28	愛知	大野	6～38(17)	2.3～ 4.0(3.1)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H28	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～90(41)	2.5～ 3.0(2.7)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H28	愛知	坂井	2～26(11)	2.4～ 3.2(2.8)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H28	愛知	奥田	<2～85(34)	2.5～ 3.2(3.0)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H28	愛知	若松ポートサ イドビーチ	2～30(16)	2.5～ 4.1(3.3)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H28	愛知	野間	26～54(46)	2.3～ 5.3(3.8)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H28	愛知	小野浦	<2～36(12)	2.4～ 4.7(3.4)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H28	愛知	内海	<2～6(<2)	1.9～ 2.9(2.4)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H28	愛知	山海	<2～10(4)	1.7～ 2.6(2.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H28	三重	千代崎	<2～8(5)	1.8～ 3.2(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H28	三重	鼓ヶ浦	<2～2(<2)	2.2～ 3.3(2.8)	0.5～ >1(0.9)	なし	水質 B	海域	A
H28	三重	御殿場	<2～10(5)	2.4～ 4.5(3.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H28	三重	香良洲	<2～2(<2)	1.8～ 4.3(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H28	三重	松名瀬	<2～2(<2)	1.8～ 2.4(2.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H28	三重	大淀	<2～2(<2)	1.9～ 2.7(2.3)	0.8～ >1(1)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H28	三重	二見浦	<2～<2(<2)	1.9～ 2.9(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H28	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	1.2～ 1.8(1.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H28	三重	鳥羽白浜	<2～<2(<2)	1.2～ 2.2(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H28	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	1.3～ 2.3(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H28	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	1.2～ 2.1(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H27	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～8(<2)	1.3～ 2.4(2.0)	全透～全透 (全透)	なし	水質 A A	海域	C
H27	愛知	大野	2～42(20)	2.1～ 3.2(2.8)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H27	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～4(<2)	2.0～ 2.5(2.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H27	愛知	坂井	<2～6(<2)	1.7～ 2.5(2.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H27	愛知	奥田	<2～<2(<2)	1.8～ 2.1(1.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 A A	海域	A
H27	愛知	若松ポートサ イドビーチ	<2～2(<2)	1.5～ 3.0(2.3)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H27	愛知	野間	<2～10(2)	2.1～ 3.1(2.6)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H27	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	1.5～ 2.6(2.1)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H27	愛知	内海	<2～2(<2)	1.5～ 2.2(1.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 A A	海域	A
H27	愛知	山海	<2～<2(<2)	1.2～ 2.2(1.6)	全透～全透 (全透)	なし	水質 A A	海域	A
H27	三重	千代崎	<2～16(4)	1.6～ 2.4(1.9)	0.2～ >1(0.8)	なし	水質 B	海域	A
H27	三重	鼓ヶ浦	<2～<2(<2)	1.8～ 2.4(2.0)	0.2～ >1(0.8)	なし	水質 B	海域	A
H27	三重	御殿場	<2～30(8)	1.6～ 3.0(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H27	三重	香良洲	<2～<2(<2)	1.2～ 2.8(1.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	B
H27	三重	松名瀬	<2～<2(<2)	1.2～ 1.8(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	B
H27	三重	大淀	<2～<2(<2)	1.2～ 1.8(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H27	三重	二見浦	<2～4(2)	0.6～ 1.8(1.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H27	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	0.6～ 0.8(0.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H27	三重	鳥羽白浜	<2～<2(<2)	<0.5～ 1.2(0.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H27	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	0.8～ 1.8(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H27	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	0.6～ 1.2(0.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H26	愛知	新舞子 マリンパーク	10～30(17)	1.6～ 4.0(2.7)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	C
H26	愛知	大野	2～280(83)	2.7～ 7.3(4.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H26	愛知	坂井	<2～<2(<2)	2.9～ 3.7(3.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H26	愛知	奥田	<2～<2(<2)	2.1～ 2.5(2.3)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H26	愛知	若松	<2～14(4)	1.9～ 3.1(2.5)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H26	愛知	野間	<2～6(<2)	1.7～ 2.8(2.3)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H26	愛知	小野浦	<2～10(2)	1.5～ 2.2(1.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 A	海域	A
H26	愛知	内海	<2～120(39)	1.7～ 3.3(2.3)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H26	愛知	山海	<2～150(44)	1.6～ 3.6(2.6)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H26	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～30(9)	2.5～ 2.8(2.7)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H26	三重	千代崎	<2～8(4)	1.9～ 4.0(2.7)	0.5～ >1(0.8)	なし	水質 B	海域	A
H26	三重	鼓ヶ浦	<2～4(<2)	1.7～ 3.1(2.4)	0.5～ >1(0.8)	なし	水質 B	海域	A
H26	三重	御殿場	2～40(23)	1.2～ 3.2(2.3)	1～>1(1)	なし	水質 B	海域	B
H26	三重	香良洲	<2～<2(<2)	1.4～ 3.2(2.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H26	三重	松名瀬	<2～4(<2)	2.1～ 3.1(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H26	三重	大淀	<2～<2(<2)	1.6～ 2.2(1.9)	0.5～ >1(0.8)	なし	水質 B	海域	A
H26	三重	二見浦	<2～8(3)	1.3～ 1.9(1.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H26	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	0.9～ 1.7(1.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H26	三重	鳥羽白浜	<2～<2(<2)	1.2～ 1.5(1.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H26	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	0.8～ 1.7(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H26	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	0.8～ 1.3(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H25	愛知	新舞子	<2～<2(<2)	3.4～ 5.8(4.6)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	C

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H25	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～2(<2)	3.6～ 5.6(4.4)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	C
H25	愛知	大野	2～28(12)	2.6～ 3.8(3.5)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H25	愛知	坂井	<2～<2(<2)	2.2～ 4.1(2.8)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H25	愛知	奥田	<2～<2(<2)	2.5～ 3.4(2.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H25	愛知	若松	<2～4(<2)	2.7～ 4.1(3.2)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H25	愛知	野間	<2～<2(<2)	2.5～ 3.2(2.8)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H25	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	2.0～ 2.6(2.4)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H25	愛知	内海	<2～<2(<2)	2.2～ 3.8(2.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H25	愛知	山海	<2～<2(<2)	2.1～ 3.5(2.6)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	A
H25	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～<2(<2)	1.9～ 3.6(2.9)	全透～全透 (全透)	なし	水質 B	海域	B
H25	三重	千代崎	<2～<2(<2)	2.1～ 3.3(2.7)	>1～>1	なし	水質 B	海域	A
H25	三重	鼓ヶ浦	<2～<2(<2)	2.2～ 2.7(2.5)	>1～>1	なし	水質 B	海域	A
H25	三重	御殿場	<2～4(<2)	2.0～ 3.0(2.7)	>1～>1	なし	水質 B	海域	B
H25	三重	香良洲	<2～<2(<2)	2.0～ 2.6(2.4)	>1～>1	なし	水質 B	海域	B
H25	三重	松名瀬	<2～<2(<2)	2.5～ 3.5(2.9)	>1～>1	なし	水質 B	海域	B
H25	三重	大淀	<2～4(2)	1.9～ 2.7(2.5)	>1～>1	なし	水質 B	海域	A
H25	三重	二見浦	<2～8(2)	1.6～ 2.0(1.8)	>1～>1	なし	水質 A	海域	A
H25	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	1.2～ 1.5(1.3)	>1～>1	なし	水質 A A	海域	A
H25	三重	鳥羽白浜	<2～<2(<2)	1.3～ 1.5(1.5)	>1～>1	なし	水質 A A	海域	A
H25	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	1.1～ 1.5(1.3)	>1～>1	なし	水質 A A	海域	A
H25	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	1.0～ 2.0(1.6)	>1～>1	なし	水質 A A	海域	A
H24	愛知	新舞子	<2～2(<2)	2.4～ 4.4(3.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H24	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～10(2)	2.2～ 6.1(3.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H24	愛知	大野	<2～46(12)	3.4～ 4.0(3.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H24	愛知	坂井	<2～<2(<2)	3.7～ 5.4(4.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H24	愛知	奥田	<2～4(<2)	3.1～ 5.4(4.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	愛知	若松	<2～54(15)	3.3～ 4.1(3.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	愛知	野間	<2～2(<2)	2.4～ 4.7(3.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	愛知	小野浦	<2～2(<2)	2.3～ 3.2(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	愛知	内海	<2～26(4)	2.1～ 2.8(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	愛知	山海	<2～2(<2)	2.2～ 3.1(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	愛知	りんくう 海浜緑地	<2～2(<2)	3.0～ 4.7(3.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H24	三重	千代崎	<2～4(2)	2.3～ 4.4(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	三重	鼓ヶ浦	<2～6(2)	2.3～ 3.9(3.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H24	三重	御殿場	<2～10(6)	1.7～ 3.6(2.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H24	三重	香良洲	<2～<2(<2)	2.7～ 3.8(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H24	三重	松名瀬	<2～2(<2)	1.9～ 3.8(3.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H24	三重	大淀	<2～<2(<2)	1.0～ 2.3(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H24	三重	二見浦	<2～<2(<2)	1.1～ 1.8(1.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H24	三重	神前	<2～<2(<2)	1.0～ 1.7(1.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H24	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	1.4～ 1.6(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H24	三重	鳥羽白浜	<2～<2(<2)	1.3～ 1.9(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H24	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	1.0～ 1.2(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H24	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	0.8～ 1.3(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H23	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～44(14)	3.3～ 5.2(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H23	愛知	大野	<2～12(4)	2.4～ 4.2(2.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H23	愛知	坂井	<2～<2(<2)	1.9～ 6.3(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H23	愛知	奥田	<2～<2(<2)	2.5～ 4.8(3.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H23	愛知	若松	<2～4(<2)	2.1～ 4.0(3.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H23	愛知	野間	<2～2(<2)	2.5～ 4.7(3.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H23	愛知	小野浦	<2～2(<2)	2.0～ 3.0(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H23	愛知	内海	<2～6(2)	1.9～ 2.9(2.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H23	愛知	山海	<2～2(<2)	1.9～ 2.4(2.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H23	三重	千代崎	<2～2(<2)	<0.5～ 4.0(2.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H23	三重	鼓ヶ浦	<2～2(<2)	<0.5～ 4.8(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H23	三重	御殿場	<2～4(2)	<0.5～ 5.2(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H23	三重	香良洲	<2～2(<2)	<0.5～ 2.8(2.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H23	三重	松名瀬	<2～2(<2)	0.8～ 3.2(2.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H23	三重	大淀	<2～2(<2)	0.8～ 2.4(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H23	三重	二見浦	<2～10(3)	<0.5～ 1.6(0.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H23	三重	神前	<2～2(<2)	0.8～ 2.0(1.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H23	三重	市営安楽島	<2～2(<2)	<0.5～ 2.0(1.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H23	三重	鳥羽白浜	<2～2(<2)	<0.5～ 1.6(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H23	三重	千鳥ヶ浜	<2～2(<2)	1.2～ 2.4(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H23	三重	阿児の松原	<2～2(<2)	<0.5～ 1.6(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H22	愛知	新舞子	<2～310(140)	2.8～ 5.0(3.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H22	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～360(140)	3.0～ 4.9(3.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H22	愛知	大野	<2～4(<2)	2.4～ 4.0(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H22	愛知	坂井	<2～5(<2)	3.0～ 4.7(4.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H22	愛知	奥田	<2～5(<2)	3.2～ 4.7(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	愛知	若松	<2～5(<2)	2.8～ 5.0(3.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	愛知	野間	<2～2(<2)	2.6～ 4.7(3.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H22	愛知	小野浦	<2～2(<2)	2.8～ 3.4(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	愛知	内海	<2～16(7)	2.8～ 3.4(3.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	愛知	山海	<2～2(<2)	1.9～ 2.8(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	三重	千代崎	4～20(12)	3.5～ 4.1(3.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	三重	鼓ヶ浦	4～8(5)	3.1～ 4.8(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	三重	御殿場	<2～4(<2)	3.7～ 4.5(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H22	三重	香良洲	<2～2(<2)	2.2～ 4.0(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H22	三重	松名瀬	<2～4(<2)	2.9～ 3.9(3.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H22	三重	大淀	<2～2(<2)	2.1～ 2.6(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H22	三重	二見浦	<2～2(<2)	1.2～ 2.0(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H22	三重	神前	<2～2(<2)	1.4～ 2.0(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H22	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	0.9～ 1.6(1.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H22	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	0.9～ 1.6(1.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H22	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	1.3～ 1.5(1.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H21	愛知	新舞子	<2～8(4)	2.8～ 5.5(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H21	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～2(<2)	2.7～ 6.0(4.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H21	愛知	大野	<2～90(35)	2.9～ 5.8(4.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H21	愛知	坂井	<2～<2(<2)	2.2～ 3.2(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H21	愛知	奥田	<2～12(3)	3.4～ 5.0(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	愛知	若松	<2～52(19)	3.4～ 5.2(4.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	愛知	野間	<2～26(9)	4.3～ 5.8(5.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 C	海域	A
H21	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	3.4～ 4.7(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	愛知	内海	<2～130(26)	3.5～ 6.6(4.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	愛知	山海	<2～8(<2)	2.6～ 4.0(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H21	三重	千代崎	<2～<2(<2)	3.5～ 4.6(4.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	三重	鼓ヶ浦	<2～<2(<2)	3.8～ 4.3(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	三重	御殿場	2～10(6)	3.2～ 3.7(3.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H21	三重	香良洲	<2～<2(<2)	2.3～ 4.4(3.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H21	三重	松名瀬	<2～<2(<2)	3.1～ 3.8(3.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H21	三重	大淀	<2～<2(<2)	2.8～ 4.4(3.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	三重	二見浦	<2～<2(<2)	1.8～ 2.0(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H21	三重	神前	<2～<2(<2)	2.1～ 2.8(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H21	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	1.6～ 1.8(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H21	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	1.0～ 1.5(1.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H21	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	1.2～ 1.9(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H20	愛知	新舞子	14～280(93)	5.8～ 6.5(6.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 C	海域	C
H20	愛知	新舞子 マリンパーク	16～150(66)	4.9～ 6.5(5.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 C	海域	C
H20	愛知	大野	10～400(110)	3.3～ 6.3(4.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H20	愛知	坂井	<2～20(3)	3.3～ 4.7(4.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H20	愛知	若松	<2～4(2)	4.6～ 7.4(5.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 C	海域	A
H20	愛知	野間	2～6(3)	5.3～ 7.6(6.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 C	海域	A
H20	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	2.6～ 3.9(3.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	愛知	内海	<2～<2(<2)	2.3～ 3.5(2.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	愛知	山海	<2～<2(<2)	1.9～ 2.9(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	三重	千代崎	<2～10(5)	2.6～ 3.2(2.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	三重	鼓ヶ浦	<2～12(4)	2.3～ 2.9(2.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	三重	御殿場	4～26(19)	2.3～ 3.5(3.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H20	三重	香良洲	<2～<2(<2)	2.1～ 2.7(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H20	三重	松名瀬	<2～2(<2)	2.9～ 3.5(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H20	三重	大淀	<2～14(4)	2.9～ 3.2(3.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	三重	二見浦	<2～2(<2)	2.0～ 2.6(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	三重	神前	6～18(13)	2.1～ 2.7(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H20	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	1.5～ 1.9(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H20	三重	鳥羽白浜	<2～2(<2)	1.6～ 2.3(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H20	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	<0.5～ 2.3(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H20	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	1.9～ 2.4(2.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H19	愛知	新舞子	<2～2(<2)	3.6～ 6.1(4.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H19	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～2(<2)	2.8～ 4.6(3.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	C
H19	愛知	大野	<2～150(61)	3.9～ 9.5(6.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 C	海域	B
H19	愛知	坂井	<2～<2(<2)	3.5～ 5.5(4.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H19	愛知	奥田	<2～85(14)	2.8～ 4.5(3.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H19	愛知	若松	<2～36(9)	3.2～ 5.1(4.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H19	愛知	野間	<2～300(56)	3.8～ 5.9(4.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H19	愛知	小野浦	<2～<2(<2)	1.9～ 4.1(3.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H19	愛知	内海	<2～2(<2)	1.8～ 3.1(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H19	愛知	山海	<2～2(<2)	2.0～ 2.8(2.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H19	三重	千代崎	<2～2(<2)	1.0～ 2.5(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H19	三重	鼓ヶ浦	<2～4(2)	0.7～ 2.8(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H19	三重	御殿場	<2～16(4)	1.0～ 2.8(1.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	B
H19	三重	香良洲	<2～2(<2)	1.2～ 2.9(2.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H19	三重	松名瀬	<2～4(<2)	1.8～ 3.6(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H19	三重	大淀	<2～2(<2)	3.6～ 4.4(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H19	三重	二見浦	<2～10(4)	1.7～ 2.0(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H19	三重	神前	6～36(23)	1.9～ 2.0(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H19	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	0.5～ 1.6(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H19	三重	鳥羽白浜	<2～<2(<2)	0.8～ 1.5(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H19	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	<0.5～ 1.1(0.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H19	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	0.5～ 1.8(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H18	愛知	新舞子 マリンパーク	2～8(5)	1.2～ 2.1(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	*	海域	C
H18	愛知	小野浦	<2～6(<2)	0.7～ 1.4(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	*	海域	A
H18	愛知	内海	<2～14(2)	0.8～ 1.7(1.3)	>1～ >1(>1)	なし	*	海域	A
H18	三重	千代崎	<2～4(<2)	3.1～ 4.7(4.1)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H18	三重	鼓ヶ浦	<2～10(3)	3.9～ 4.9(4.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H18	三重	御殿場	<2～14(4)	2.7～ 3.9(3.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H18	三重	香良洲	<2～4(2)	2.4～ 4.6(3.3)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H18	三重	大淀	4～6(5)	2.4～ 2.8(2.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H18	三重	二見浦	<2～8(5)	1.3～ 1.9(1.6)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H18	三重	神前	<2～6(3)	1.1～ 1.8(1.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H18	三重	市営安楽島	<2～<2(<2)	1.1～ 1.9(1.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H18	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	1.3～ 1.9(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H18	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	0.8～ 1.7(1.4)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H17	愛知	新舞子 マリンパーク	<2～10(2)	0.6～ 1.7(1.2)	>1～ >1(>1)	なし	—	海域	C
H17	愛知	小野浦	<2～2(<2)	0.5～ 1.5(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	—	海域	A
H17	愛知	内海	<2～<2(<2)	1.0～ 1.2(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	—	海域	A
H17	愛知	山海	<2～<2(<2)	0.6～ 1.3(1.1)	>1～ >1(>1)	なし	—	海域	A
H17	三重	千代崎	2～22(8)	2.9～ 4.5(3.5)	0.7～ >1(0.9)	なし	水質 B	海域	A

年	都道府県名	水浴場名	ふん便性大腸 菌群数 (個/100mL) 最小～最大 (平均)	COD(mg/L) 最小～最大 (平均)	透明度(m) 最小～最大 (平均)	油膜 の有無	判定	水域 区分	環境基準 の水域 類型
H17	三重	鼓ヶ浦	<2～4(2)	2.7～ 4.3(3.4)	0.7～ >1(0.9)	なし	水質 B	海域	A
H17	三重	御殿場	6～36(17)	2.4～ 4.4(3.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H17	三重	香良洲	<2～<2(<2)	1.9～ 3.4(2.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H17	三重	松名瀬	<2～14(4)	2.7～ 3.8(3.2)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	B
H17	三重	大淀	<2～4(2)	2.5～ 3.1(3.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H17	三重	二見浦	<2～4(2)	2.0～ 3.1(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H17	三重	神前	2～28(9)	1.9～ 2.9(2.5)	>1～ >1(>1)	なし	水質 B	海域	A
H17	三重	和具 サンシャイン	<2～<2(<2)	1.6～ 2.0(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H17	三重	市営安楽島	<2～8(2)	1.5～ 2.5(2.0)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H17	三重	鳥羽白浜	<2～52(14)	1.6～ 2.3(1.9)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A	海域	A
H17	三重	千鳥ヶ浜	<2～<2(<2)	1.5～ 2.0(1.7)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A
H17	三重	阿児の松原	<2～<2(<2)	1.6～ 1.9(1.8)	>1～ >1(>1)	なし	水質 A A	海域	A

注：全国の水浴場のうち、前年度の利用者が概ね1万人以上であった水浴場の現状水質の調査結果は次のとおりである。

資料：「水浴場の水質調査結果」（環境省水・大気環境局、

https://www.env.go.jp/water/suiyoku_cho/index.html、閲覧：令和7年4月15日）

資料2. 漁業者ヒアリング結果

伊勢湾の全窒素及び全リンの類型指定の見直しに対して、愛知県漁業協同組合連合会（以下、愛知県漁連という。）及び三重県漁業協同組合連合会（以下、三重県県漁連という。）に対し以下の項目についてヒアリングを実施した。

- ・伊勢湾の全窒素、全リンの水域類型の見直し（案）に対する意見

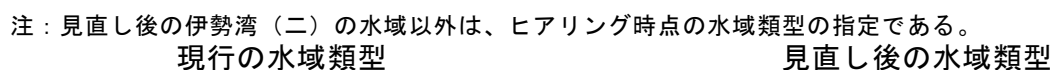
案1：伊勢湾(二)を類型Ⅲに見直し（図 2.1 のとおり）

案2：伊勢湾(二)を沿岸(類型Ⅲ)と沖合(類型Ⅱ)に分割する案（図 2.2 の伊勢湾の黄色枠の水域を中心とした水域を想定）

案3：伊勢湾(二)を10月～翌年3月まで類型Ⅲ、4月～9月まで類型Ⅱにする案

- ・赤潮、貧酸素水塊の発生に伴う漁業影響
- ・水産利用の実態

愛知県漁業協同組合連合会へのヒアリングは令和7年8月28日、三重県漁業協同組合連合会へのヒアリングは令和7年8月29日に実施し、ヒアリング結果を表 2.1 に示す。



(出典)・伊勢湾環境データベース (<https://www.isewan-db.go.jp/IsewanKankyo/ik04.asp>)
 ・三重県アサリ資源管理マニュアル (2010) 三重県.
 ・三重県環境審議会第2回水質部会 資料3.
 ・栄養塩に関する三河湾の現状 (2022) 矢作川流域圏懇談会公開講座資料 より作成

※ 2023年9月に漁業権区域の見直しが行われたが、図中には見直し前の区域を示した。

図 2.2 伊勢湾・三河湾の漁業権区域とノリ・アサリの主要漁場

表 2.1(1) ヒアリング結果

ヒアリングした項目	愛知県漁連意見の概要	三重県漁連意見の概要
水域類型の見直し（案）	・年間を通した栄養塩類の供給や魚類にとって餌環境が重要であるといった観点から、案 1`や案 2 ではなく、案 1 に賛成 ・昨年度、イワシは豊漁であったが、再生産に必要な栄養塩類が不足しており、資源量は増加していない。 ・現状の窒素 0.3mg/L、リン 0.03mg/L の濃度だと魚類の再生産には不十分である。<u>魚類の再生産の観点からも現状の類型Ⅱから類型Ⅲへ戻すべきだ</u>と考えている。	・<u>案 1 に賛成</u> ・漁業者としては伊勢湾全体の窒素、リンの増加が重要と考えている。 ・<u>餌となるプランクトン量を改善する観点で、窒素リンについては類型見直し、効果的な下水道管理運転も含めて取り組むべき</u>である。赤潮が発生していた時代の再生産のサイクルが、現状は失われている理解である。<u>漁業の観点からは、沿岸だけでなく、湾全体としてプランクトンが少ないと生物は育めない</u>ので、<u>沖合から移動する魚種も考慮し、湾全体で窒素リンの増加が必要</u>と考える。
赤潮、貧酸素水塊の発生に伴う漁業影響	・漁業者からすると、<u>底層溶存酸素量より栄養塩類の方が魚介類にとって重要な要因だ</u>と考えている。 ・以前は貧酸素水塊が広がると、浅瀬にシャコ等が移動することが確認されていたが、最近は確認されなくなっている。魚介類にとっては、貧酸素水塊より栄養塩類不足による餌環境の悪化の方が生息・再生産に大きな影響を与えていると考えている。	・窒素、リンの増加により、赤潮発生→貧酸素水塊増加→漁獲量減少といった見解もある。ただし、赤潮は過去にも多く発生していたが、再生産が低下したといった実態はないと考えている。むしろ、<u>漁業者の立場からは、窒素、リンの増加の方が重要ではないか</u>と考えている。 ・<u>窒素、リンが規制されても貧酸素水塊は改善していない状況であるため、漁業者としては栄養塩類と貧酸素水塊の関連性は低い</u>と考えている。 ・赤潮については、海生生物にとって無害な赤潮もあること、<u>赤潮が発生しても再生産が行われることから、赤潮発生は自然に起こりうる認識</u>である。

表 2.1(2) ヒアリング結果

ヒアリングした項目	愛知県漁連意見の概要	三重県漁連意見の概要
エビ・カニ類等の漁獲量の変化 (エビ・カニ類：水産1種に分類（類型Ⅱの利用に該当))	・ <u>どの業者からも水域類型の見直しに反対する声は聞こえていない。</u> ・ 今年、エビの漁獲は良かったが、ガザミ・タコ等は大きく減少している（エビ・カニ類は年によって大きく変動。 ・ エビ・カニ類を含む魚介類そのものが、栄養塩類濃度が高い湾奥部に移動している実感がある。 ・ アナゴ、シャコは湾奥部である名古屋港内で漁獲。シャコはエサ不足が原因で小型が多く、大型が少ない。 ・ 十数年前から<u>エビ・カニ類の漁獲量は横ばい</u>である。	・ (エビ・カニの漁獲に関する質問に対して) 魚種問わず、<u>漁業者全体としては栄養塩類の増加を望んでいる現状である。</u>以前はノリ漁業の都合で実施ができなかったが、現在三重県と施肥の試験を実施している。 ・ エビ・カニ類については、<u>プランクトン量（窒素、燐が影響）だけでなく、幼生が生育するための場として干潟が重要</u>である。
漁場の変化について	・ 近年、<u>漁場が北上</u>している。 ・ イワシ等の浮魚類も含めて湾奥部の名古屋港付近でないと魚類の漁獲がされなくなっている（魚類の生態系が保たれなくなってきた）。 ・ シラスの漁獲も最近は内湾ではなく渥美半島付近の外洋がメインとなっている。渥美半島付近では黒潮の大蛇行による影響を受けて、漁場に変化が起きている。 ・ 水試が出しているアナゴ・シャコの漁場図が変化している（図 2.3 参照）。	・ <u>沿岸域から湾口にかけて栄養塩類が少ない意見</u>があげられている。アオサ・アオノリ・カキ漁業者が影響を受けていると考えられる。（ただし、アオノリの必要な窒素量についてはデータが少ない状況ではある） ・ 海況によって漁獲は年変動することと、近年は水揚げ自体がない状況。今年はカニが少し漁獲された時期も見られた。

表 2.1(3) ヒアリング結果

ヒアリングした項目	愛知県漁連意見の概要	三重県漁連意見の概要
イカナゴに必要な栄養塩類濃度に関する情報	・ 禁漁前の漁獲されていた当時でもエサ不足でやせていたと聞いている。<u>イカナゴにとって必要な栄養塩類濃度としては 20 年前程度の濃度が必要だ</u>と考えている。	—
アサリ等について	・ 今年のアサリの漁獲の状況が良くない。要因不明であるが、水の循環や底質の影響が考えられる。降雨（線状降水帯）の影響を受けて、細かい砂が流れ込むことで<u>アサリにとって好ましくない底質に変化した可能性も考えられる。</u> ・ 三河湾では<u>アサリが減少したのに対し、ハマグリが増えている。</u>ハマグリに適した環境（底質）に近づいているように感じる。	—
その他	・ 豊浜の方では、外洋でとれる大型魚が漁獲のメインとなっている。大型魚も餌を求めて湾内に入ってくるようになり、漁獲される魚種が変化している。 ・ 国交省と協力して、<u>現在干潟造成事業</u>を実施している。 ・ 貧酸素の改善策としては、<u>藻場・干潟造成の方が栄養塩負荷抑制より重要だ</u>と考えている。改善策の効果は、少なくとも 5 年程度かかると考えている。 ・ 水温上昇が与える漁業への影響については、悪影響があるとの声は届いていない。 ・ 最近だと、湾口部付近でガンガゼが増えてきている。<u>ガンガゼによる食害は磯焼けの原因</u>として考えられている。これは温暖化による水温上昇の影響が強いと考えている。 ・ 魚介類にとっては、貧酸素水塊による影響よりも<u>餌環境である動物プランクトンの量の方が重要</u>であると認識している。	・ 栄養塩類管理と貧酸素水塊・赤潮を関連づけるのは、漁業者としては違和感がある。 ・ 伊勢湾全体で黒潮大蛇行の影響を受けていたと考えられ、引き続き動向を注視する必要があると考えている。

標本船調査による漁場位置

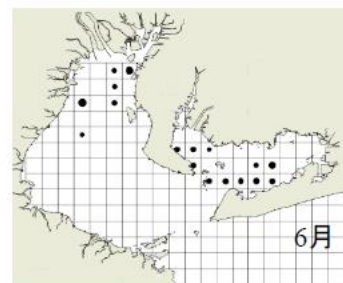
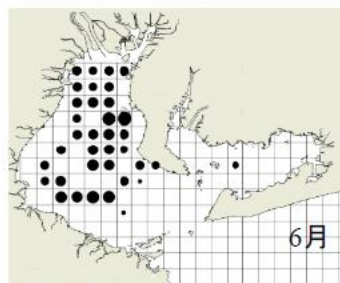
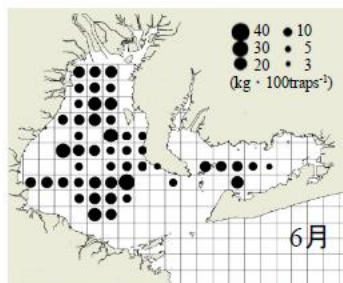
マアナゴ (あなご籠)



2002-2004

2010-2012

2018-2020



曽根ほか(2022)愛知水試研報, 27, 10-21

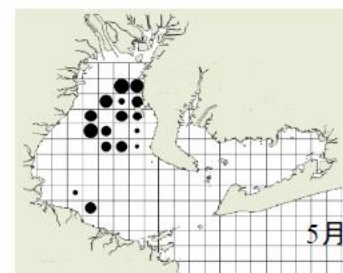
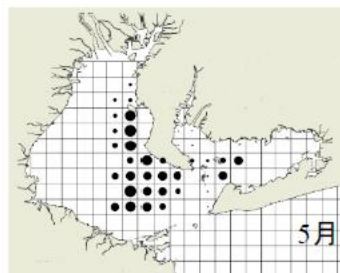
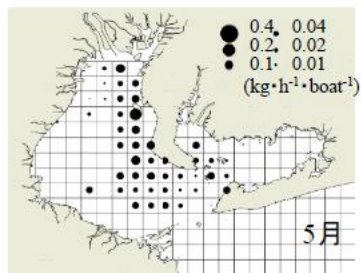
シャコ (底びき網)



2002-2004

2010-2012

2018-2020



曽根ほか(2022)愛知水試研報, 27, 22-30

資料)「中央環境審議会水環境・土壌農薬部会 生活環境の保全に関する水環境小委員会 (第2回)」(令和7年5月21日開催)資料1-5より作成

図 2.3 マアナゴ・シャコ漁場の変化

資料3. 水質シミュレーション結果

伊勢湾では、栄養塩類（窒素、リン）の減少により水産業に影響が生じている等の指摘があり、水域の利用の態様、地域のニーズや実情に応じた水域類型の見直し（伊勢湾（二）の水域を類型Ⅱから類型Ⅲへの見直し、現行の水域類型の指定状況：図 3.1 参照）の検討が必要とされた。仮に類型が見直された場合、関連する計画等が見直されれば、海域の栄養塩類（全窒素及び全リン）の増加が可能となると考えられる。

そこで、下水処理場へのアンケート結果を踏まえ、伊勢湾沿海の下水処理場からの栄養塩類の増加分を算出し、その結果を用いて数値シミュレーションを実施した。シミュレーションの目的は、栄養塩類の上昇が水質環境基準への適合状況に与える影響や、水質変化の傾向を把握することである。ただし、シミュレーションの結果は水質や生物の変化を完全に再現するものではなく、シミュレーションに用いた排水濃度は、アンケート結果に基づく仮定条件である点に留意が必要である。

なお、栄養塩類の増加措置の対象として、下水処理場や工場、事業場等が考えられるが、本検討では、河川に与える影響が小さい伊勢湾沿海に位置する下水処理場からの栄養塩類を対象に試算を行ったものであり、今後の栄養塩類に関する施策により検討される。

本検討では、「中央環境審議会 水環境・土壌農薬部会 総量削減専門委員会」で用いられている水質シミュレーション（以下、水質シミュレーション（環境省モデル）という。）を活用し、下水処理場からの負荷量の変化による水質への影響を把握することを目的として実施した。

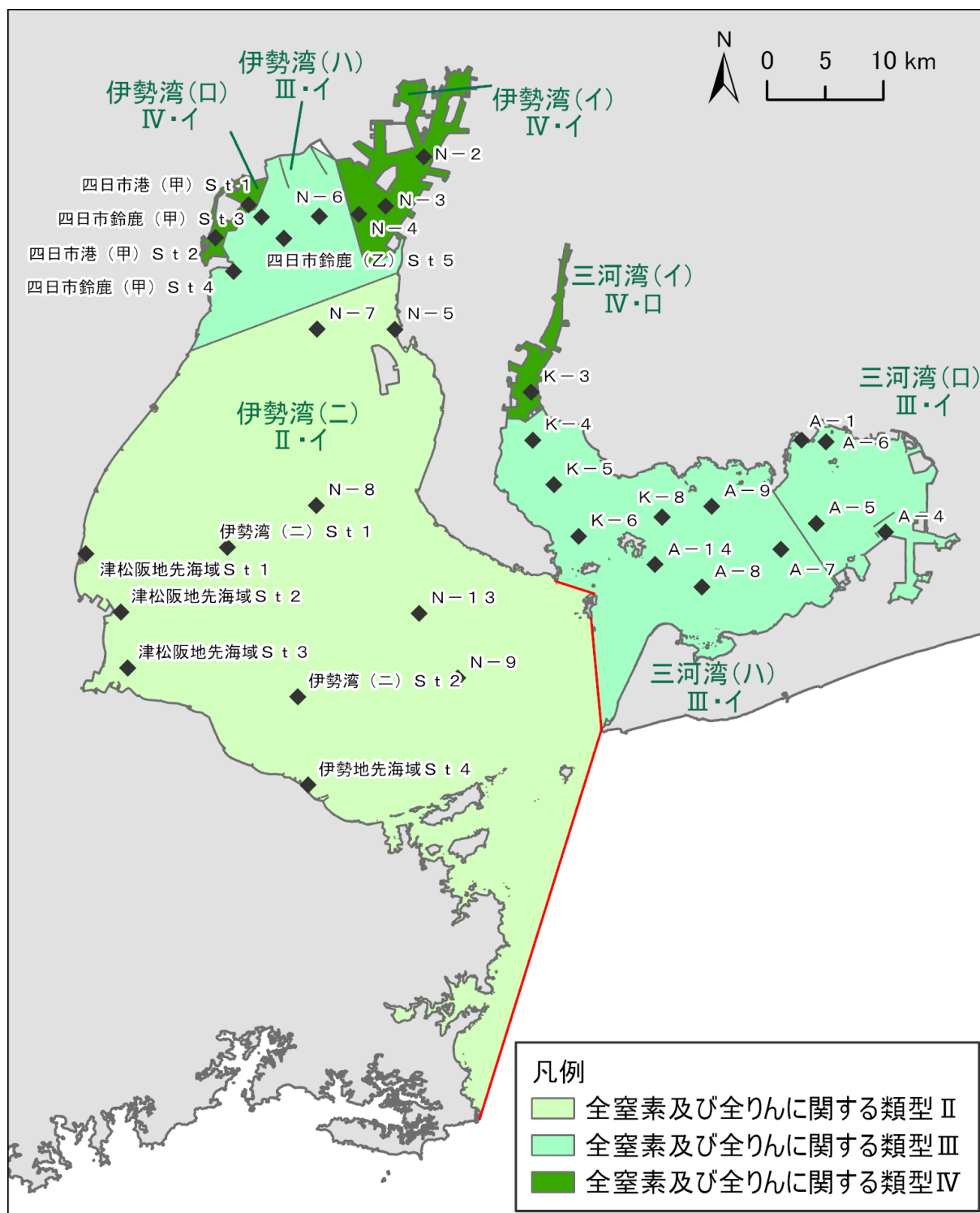


図 3.1 伊勢湾における全窒素・全燐の環境基準の水域類型の指定状況及び環境基準点

3.1 水質シミュレーション（環境省モデル）

3.1.1 水質シミュレーション（環境省モデル）の概要

本検討で用いるモデルは、以下の2つのサブモデルから構成される。「陸域汚濁負荷流出モデル」により、指定地域（指定水域の全流域）から海域へ流出する流入水量及び汚濁負荷量を算定し（COD、T-N、T-P）、その結果を「海域モデル（流動、水質－底質モデル）」に与えることで、海域での流動及び水質・底質濃度を算定する。このモデルは国立環境研究所が開発した数値モデル¹をベースとして、本検討ではこのモデルを伊勢湾の底層溶存酸素量の再現性を考慮して地形（解像度が1kmであるため、その解像度内の代表水深）、パラメータの調整等（底質への着底プランクトン（有機物の沈降速度）を考慮、流れの境界流速条件変更等）を実施したものである。水質シミュレーションの計算対象期間は2016～2020年とした。

▶ 陸域汚濁負荷流出モデル^{1,2,3}

- ・ 降水流出モデル : 河川流量を算定
- ・ 汚濁負荷流出モデル : 陸域の点源及び面源からの負荷流出を算定

▶ 海域モデル（流動、水質－底質モデル）^{1,2}

- ・ 流動モデル : 海域での水位・流動、水温・塩分を算定
- ・ 水質－底質モデル : 海域での水質及び底質濃度を算定

3.1.2 陸域汚濁負荷流出モデル

降雨による表面流出、中間流出^{※1}、地下浸透を考慮した分布型流出モデル（概念図：図 3.2 参照）により河川流量及び地下水流動を表現し、流域から海域への淡水流入量を算定する。一方、陸域からの汚濁負荷量の流出過程は、降雨に依存して各計算格子から発生する面源（山林、畑・果樹園、水田、水域、市街地）の汚濁負荷量（懸濁態及び溶存態）を、土地利用に応じて算定している。加えて、点源（工場・事業場、下水処理場、合併・単独処理浄化槽等）の発生負荷量においては、立地場所の計算格子が有している河道に発生負荷量が直接排出されるものとした。なお、モデルに用いるパラメータは既存研究の値をもとに設定されている¹。

※1 中間流出とは、降水や融雪などによって地表や地下に蓄えられた水が、河川や湖沼などの主要な水系に到達する途中で流出する過程のことをいう。

-
1. 国立環境研究所(2019):平成30年度閉鎖性海域における気候変動による影響把握等検討業務報告書 環境省請負業務
 2. 東博紀、佐藤嘉展、吉成浩志、牧秀明、越川海、金谷弦、内山雄介(2018):瀬戸内海における中小河川からの淡水流入量と流動シミュレーションの再現性への影響. 土木学会論文集 B28(海岸工学), 74(2):I_1135-I_1140
 3. 東博紀、秋山千亜紀、中田聡史、吉成 浩志(2019):瀬戸内海流域圏の汚濁負荷流出モデルの構築と2006~2015年における全窒素流出の変動傾向. 土木学会論文集 B1(水工学), 75(2):I_421-I_426

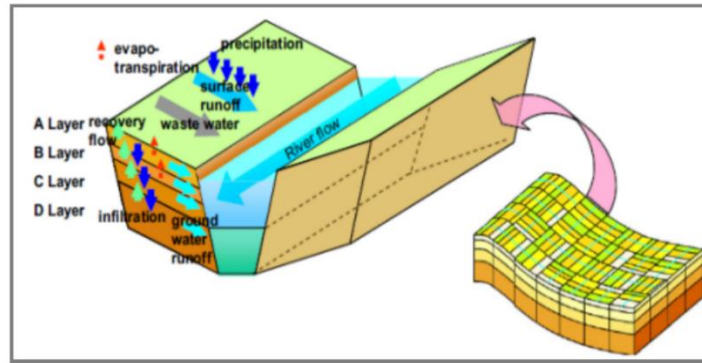


図 3.2 陸域汚濁負荷流出モデルの概念図 (Sapkota et al. (2011)⁴より引用)

3.1.3 海域モデル（流動、水質－底質モデル）

流動モデルは、水量（水位）、流速、水温、塩分及び密度・圧力を予測変数とした水平方向を格子状に、鉛直方向を多層で分割したモデル（構造図：図 3.3 参照）である。

水質－底質モデルは、海水・海底における炭素（C）、窒素（N）、リン（P）、酸素（O）の生物化学的な反応を考慮した循環プロセスを解析するものであり、植物プランクトン態、懸濁有機態、溶存有機態、溶存無機態（Cを除く）の間の形態変化を考慮している。

なお、水質－底質モデルは低次生態系モデルであり、植物プランクトン以外の生物を取り扱っていないため、海藻・海草や魚介類等による溶存酸素量への影響が評価されていないなどの不確実性が含まれていることに留意する必要がある。結果は参考として取り扱うとともに、解釈については現場観測による解析も含めて総合的に判断する必要がある。

※海域モデルの諸元

- ・ 水平格子：3 次メッシュ（解像度約 1km）
- ・ 海底地形：主に海図をもとに調整
- ・ 鉛直層分割：伊勢湾の水深が最大 38mであるため下記のように設定

第 1 層：平均水面上	第 9 層：8.5～10m	第 17 層：24～26m
第 2 層：0～1m	第 10 層：10～12m	第 18 層：26～28m
第 3 層：1～2m	第 11 層：12～14m	第 19 層：28～30m
第 4 層：2～3m	第 12 層：14～16m	第 20 層：30～32m
第 5 層：3～4m	第 13 層：16～18m	第 21 層：32～34m
第 6 層：4～5.5m	第 14 層：18～20m	第 22 層：34～36m
第 7 層：5.5～7m	第 15 層：20～22m	第 23 層：36～38m
第 8 層：7～8.5m	第 16 層：22～24m	

4. Mukta SAPKOTA、浜口俊雄、小尻利治(2011) : Numerical Analysis of Flooding Impacts Using Hydro-BEAM in Red River Basin, Vietnam. 京都大学防災研究所年報 第 54 号 B. 683-689

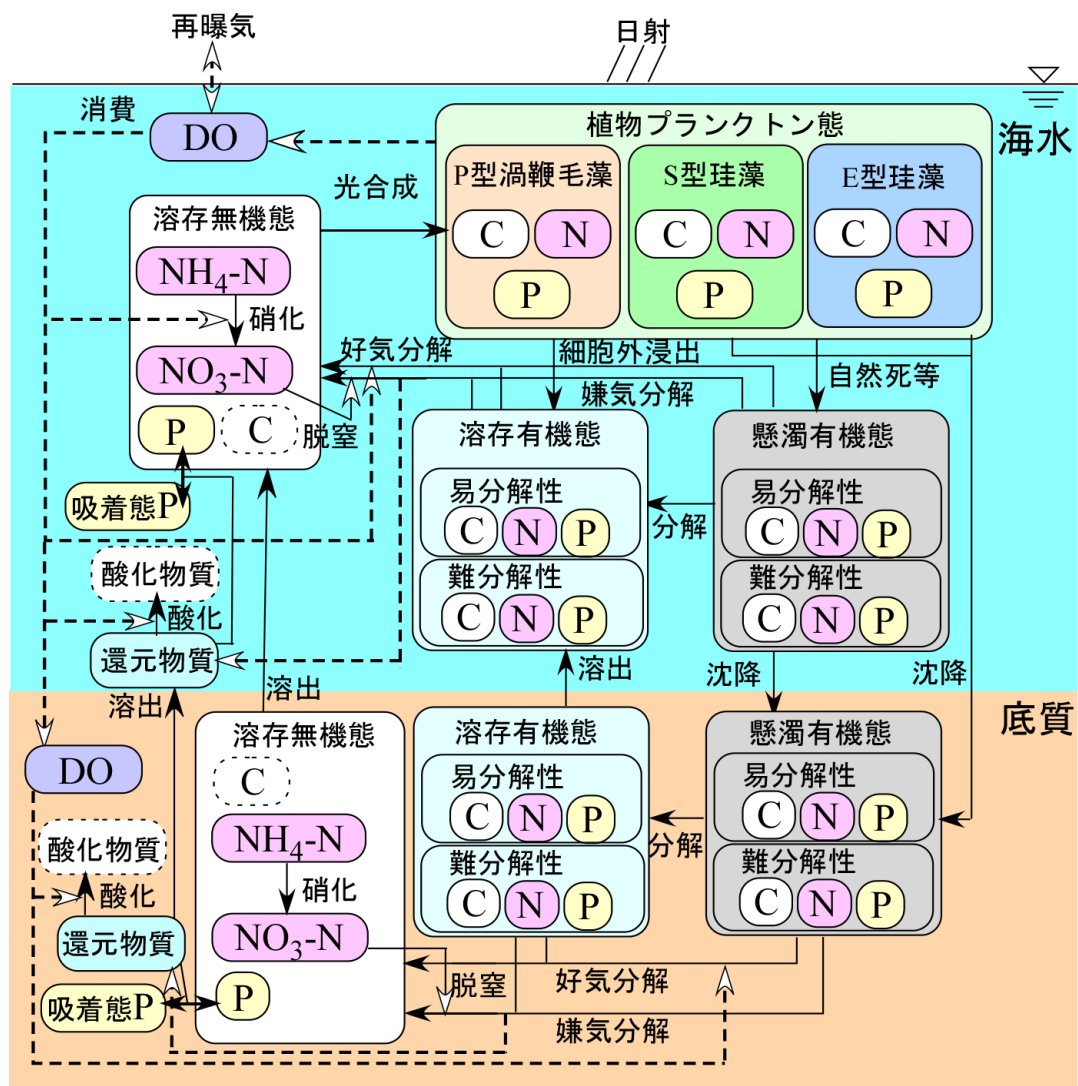


図 3.3 水質－底質モデルの構造

3.2 水質シミュレーション（環境省モデル）の水質予測条件の設定（増加措置等の条件設定）

予測時の条件設定は表 3.1 に示すとおりである。条件設定については、「第 10 次水質総量削減の在り方について－総量削減から総量管理への転換－（答申）」（令和 8 年 5 月、中央環境審議会）で実施した将来予測の条件のうち、陸域（下水処理場）からの負荷流入条件のみを再設定した。

陸域からの負荷流入条件について、図 3.4 に示す伊勢湾の沿岸に位置し、海域もしくは海域に近い箇所に排水している下水処理場 No. 1～30 に対してアンケート調査を実施した（下水処理場からの栄養塩類（全窒素及び全磷）の増加の程度を確認する観点から調査を実施）。下水処理場へのアンケートでは、現有施設において、下水道法施行規則で定められる計画放流水質の上限値（BOD 15 mg/L 以下、T-N 20 mg/L 以下、T-P

3 mg/L 以下) を考慮して放流可能な全窒素、全リンの濃度を把握した。

汚濁負荷量の算定条件は以下のとおりである。なお、今回想定した栄養塩類の増加措置は一例であり、今後の栄養塩類に関する施策により検討される。

- ・ アンケート調査の対象とした下水処理場のうち、湾奥部に面しない図 3.4 のうち赤色の下水処理場は、アンケートの結果で得られた放流可能な全窒素及び全リンの濃度に設定した。
- ・ 次に、水域の水質悪化が懸念される伊勢湾及び三河湾の湾奥部の下水処理場からの栄養塩類の増加について、水域の環境基準を達成できるように調整した。湾奥部にあり、かつ狭い内湾に面している図 3.4 のうち水色の下水処理場は、栄養塩類の排水濃度を現状維持とした。それ以外の湾奥部にある図 3.4 のうち黄色の下水処理場は、栄養塩類の増加量（排水濃度）を調整した。栄養塩類の増加量を調整した黄色の下水処理場では、社会実験（2022 年度から実施している愛知県による栄養塩増加措置等の社会実験）の実績をもとに増加運転時濃度／通常運転時濃度の倍率を算出し、この濃度倍率等をもとに各下水処理場の排水濃度を設定した。
- ・ 図 3.4 のうち灰色の下水処理場はシミュレーション対象外とした。（No. 21 の野田処理場は廃止のため、No. 28-30 の相差浄化センター、的矢浄化センター、志摩市坂崎浄化センターは外海に面しているため）
- ・ 上記の設定に基づいた下水処理場からの現況負荷量及び栄養塩類の増加量（増加ケース）は表 3.2 に示すとおりである。
- ・ 栄養塩類の増加措置は、水質シミュレーションの計算対象期間である 2016～2020 年の全期間を対象とした。

表 3.1 予測時の条件設定

各種条件	計算上の項目	設定方法
海岸線等 地形条件	海陸格子、水深条件	令和元年度以降実施された改変及び 今後令和 11 年度までに見込まれる 改変を考慮
気象条件	風向・風速、短波放射、長波放 射、気温、比湿、気圧	現況（令和元年度）と同じ
境界条件	水温・塩分、水位、流速、水質	現況（令和元年度）と同じ
陸域からの 流入水条件	流入位置からの流入水量、水 温、塩分（陸域汚濁負荷流出モ デルで算定）	現況（令和元年度）と同じ
陸域からの 負荷流入条件	流入位置からの流入負荷量 （陸域汚濁負荷流出モデルで算 定）	・ 図 3.4 に示す伊勢湾の沿海に位置 する下水処理場以外の流入負荷 量は「第 10 次水質総量削減の在 り方について－総量削減から総 量管理への転換－（答申）」（令和 8 年 5 月、中央環境審議会）実施 した将来負荷の条件と同様。 ・ 下水処理場からの栄養塩類の増加 は、下水道法施行規則の計画放 流水質の上限値、水域類型の見 直さない水域の環境基準の達成 を考慮して設定（一部の下水処 理場は現状維持）。

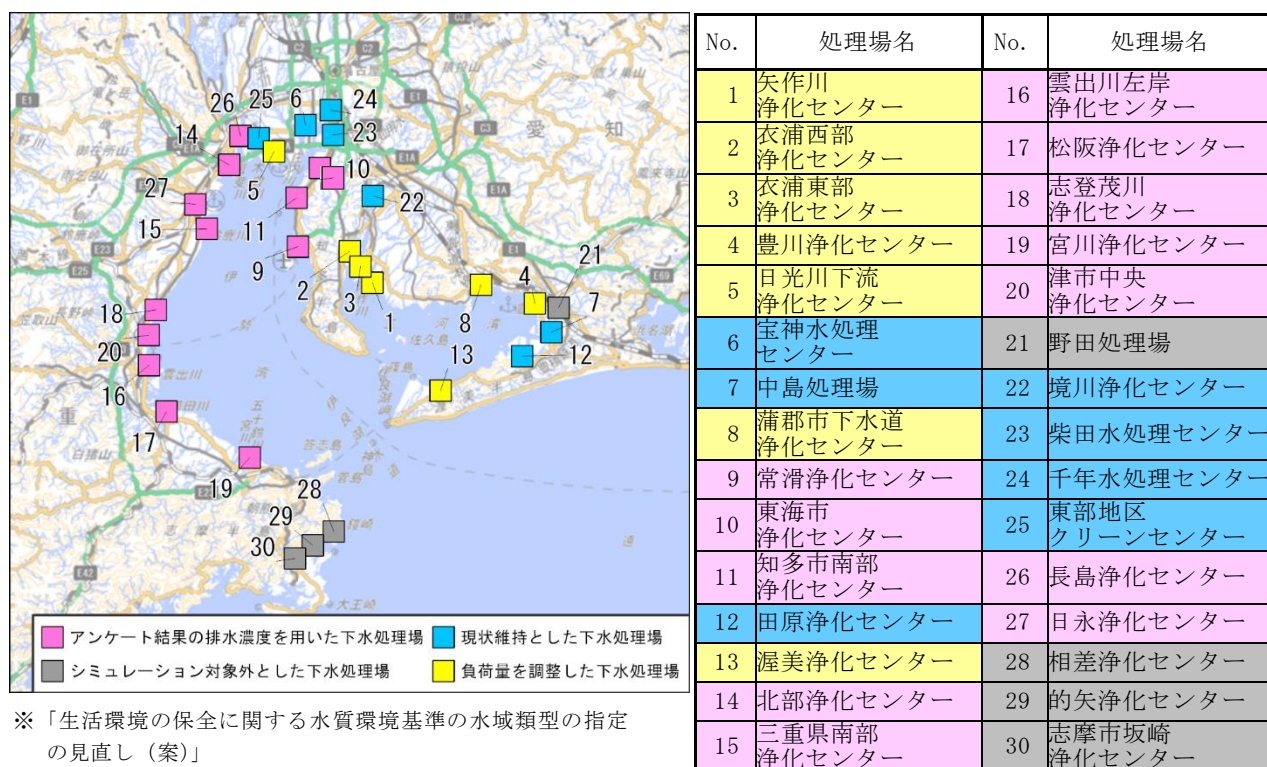


図 3.4 伊勢湾沿海の下水処理場

表 3.2 下水処理場からの現況負荷量及び栄養塩類の増加量（増加ケース）

現況負荷量 (kg/日)		増加ケース (kg/日)			
全窒素	全磷	全窒素		全磷	
		負荷量	増加分	負荷量	増加分
11,004	853	15,117	4,113	1,439	586

3.3 水質シミュレーション（環境省モデル）の結果

シミュレーション結果は図 3.5～図 3.7 に示すとおりである。

まず、広域総合水質調査の観測値を用いて、各水質項目（T-N、T-P 及び底層溶存酸素量）のシミュレーションによる計算結果が再現されていることを確認した。

このシミュレーションを用いて栄養塩類の増加措置（増加ケース）を計算し、現況ケースと増加ケースの比較を実施し、各水質の比較結果は以下のとおりである。

- ・ 栄養塩類増加措置により、全窒素、全磷はわずかに上昇する水域が広くみられ、特に伊勢湾湾奥部の名古屋港内では全窒素で 0.02mg/L 程度、全磷で 0.003mg/L 程度、四日市市沖付近においては全窒素で 0.02mg/L 程度、全磷で 0.005mg/L 程度の上昇がみられた。
- ・ 底層溶存酸素量は、わずかに低下する水域が広くみられた（最大 0.07mg/L 程度、全域では平均 0.03mg/L 程度の低下）。

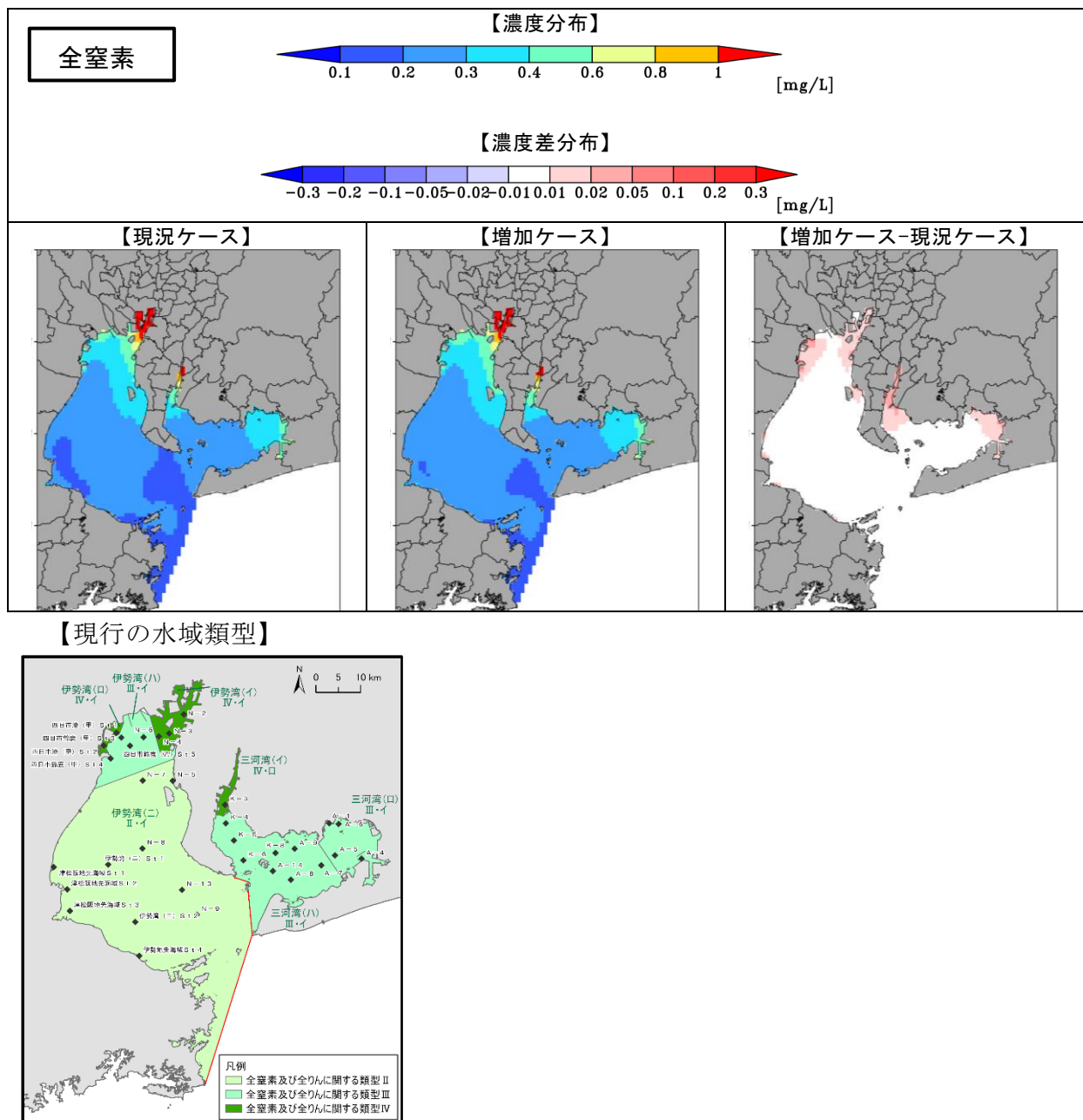
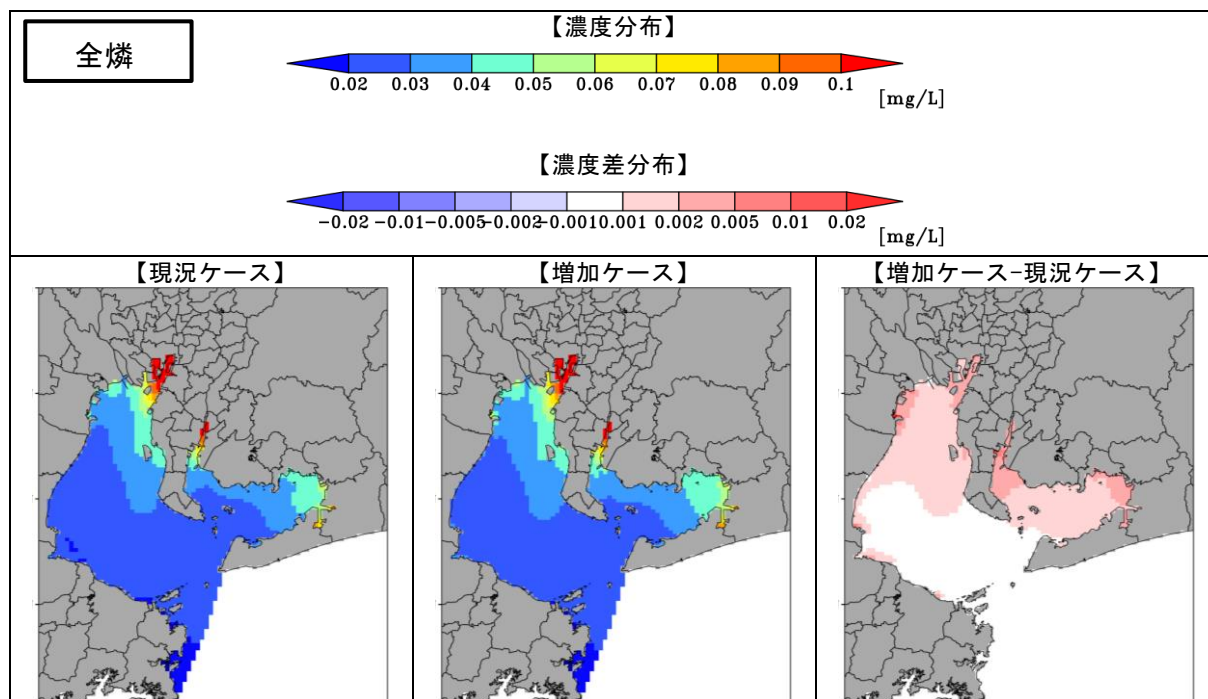
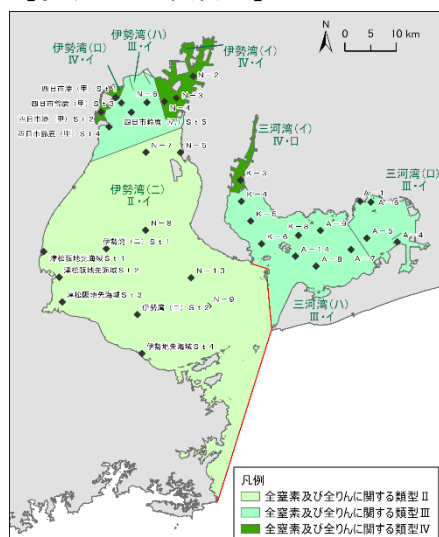


図 3.5 全窒素年平均値のシミュレーション結果

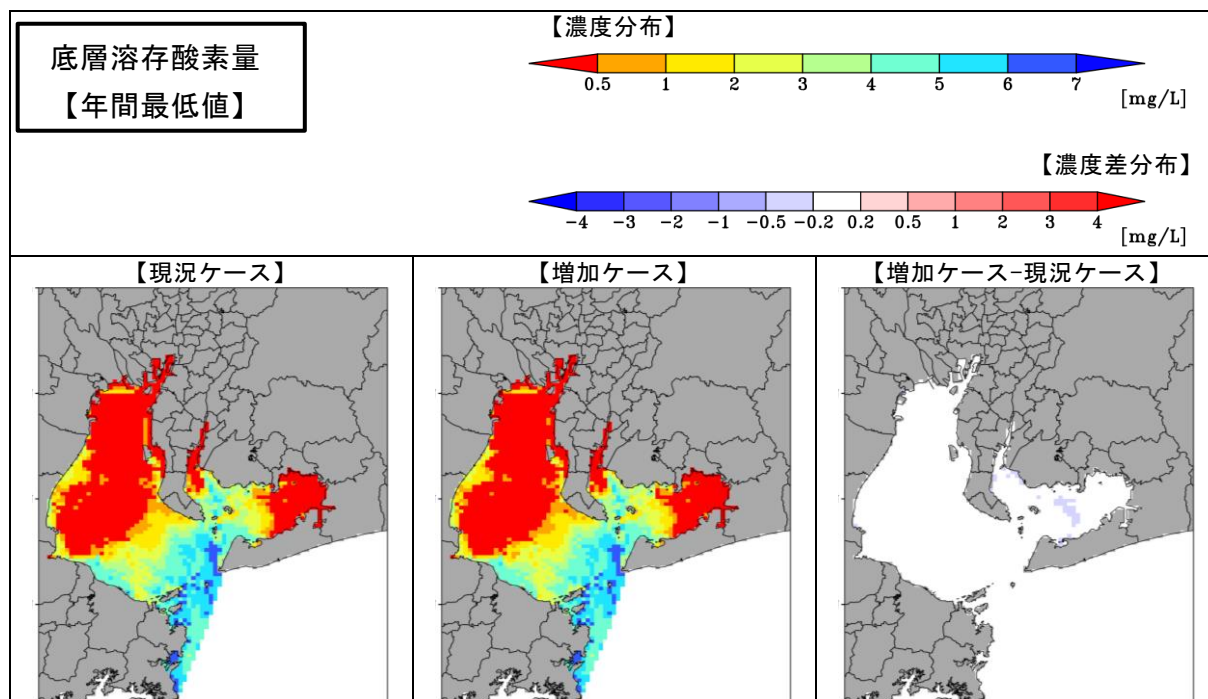


【現行の水域類型】



注) 年平均値は計算された日平均値を年間で平均した値である。

図 3.6 全燐年平均値のシミュレーション結果



（備考） 今回のシミュレーションは、現況再現データは年間の測定頻度が少ない広域総合水質測定結果（年間4回測定）を用いていること、また、低次生態系モデルであり、栄養塩類や有機物の除去を考慮した浮遊生態系及び底生生態系のモデルを含めていないため、予測の不確実性が含まれる。

注）年間最低値は、計算された底層溶存酸素量の年間の最低値を表す。

図 3.7 底層溶存酸素量（年間最低値）シミュレーション結果

3.4 環境基準の達成状況の比較

前述「3.3 水質シミュレーション（環境省モデル）の結果」より、全窒素（年間平均値）、全リン（年間平均値）、底層溶存酸素量（年間最低値）の現況（全窒素・全リンは公共用水域水質測定結果、底層溶存酸素量はシミュレーションによる現況再現値）と増加ケースのシミュレーション結果を用いて環境基準の達成状況の比較を行った。その結果は表 3.3～表 3.5 に示すとおりである。ここで、全窒素、全リンについて水質シミュレーションの現況再現結果と公共用水域水質測定結果に差が生じたことから、公共用水域水質測定結果と水質シミュレーションの現況再現結果の比率を水質シミュレーションの増加ケースの結果に乗じて増加ケースの濃度を算出した。なお、伊勢湾（二）の水域は水域類型の見直し後（類型Ⅲ）で達成状況の比較を行った。

比較した結果、全窒素、全リンともに、増加ケース（栄養塩類の増加措置を実施）において、すべての水域で環境基準は達成した。

底層溶存酸素量では、増加ケース（栄養塩類の増加措置を実施）においても、令和元年度に達成した測定地点はすべて環境基準を達成した。

表 3.3 伊勢湾における全窒素（年平均値）の環境基準の達成状況の比較

湾名	水域名	地点名	NP類型	令和元年度 現況(mg/L)	令和元年度 水域平均値 (mg/L)	令和元年度 判定	増加ケース (mg/L)	増加ケース 水域平均値 (mg/L)	増加ケース 判定
伊勢湾	伊勢湾(二)	N-5	Ⅱ(Ⅲ)	0.40	0.29	○ (○)	0.41	0.30	○ (○)
		N-7	Ⅱ(Ⅲ)	0.39			0.40		
		N-8	Ⅱ(Ⅲ)	0.38			0.39		
		N-9	Ⅱ(Ⅲ)	0.32			0.33		
		N-13	Ⅱ(Ⅲ)	0.27			0.27		
		津松阪地先海域St1	Ⅱ(Ⅲ)	0.29			0.30		
		津松阪地先海域St2	Ⅱ(Ⅲ)	0.23			0.24		
		津松阪地先海域St3	Ⅱ(Ⅲ)	0.28			0.29		
		伊勢地先海域St4	Ⅱ(Ⅲ)	0.25			0.25		
		伊勢湾(二) St1	Ⅱ(Ⅲ)	0.21			0.21		
		伊勢湾(二) St2	Ⅱ(Ⅲ)	0.22			0.22		
	伊勢湾(ハ)	N-6	Ⅲ	0.37	0.39	○	0.38	0.40	○
		四日市鈴鹿(甲) St3	Ⅲ	0.38			0.40		
		四日市鈴鹿(甲) St4	Ⅲ	0.42			0.44		
		四日市鈴鹿(乙) St5	Ⅲ	0.37			0.38		
	伊勢湾(イ)	N-2	Ⅳ	1.20	0.72	○	1.22	0.73	○
		N-3	Ⅳ	0.53			0.54		
		N-4	Ⅳ	0.43			0.44		
	伊勢湾(ロ)	四日市港(甲) St1	Ⅳ	0.38	0.46	○	0.40	0.48	○
		四日市港(甲) St2	Ⅳ	0.53			0.55		

- 注) 1. 「令和元年度現況 (mg/L)」欄は、令和元年度の各環境基準点の全窒素の年平均値である。
2. 「令和元年度水域平均値」欄は、各水域の環境基準点の全窒素（年平均値）の平均値（全窒素の環境基準の評価値）である。
3. 「令和元年度判定」欄は、令和元年度の各水域の環境基準点の達成（○）、非達成（×）を表す。なお、伊勢湾（二）は令和元年度ではⅡ類型であるため、Ⅲ類型としての達成の判定は（ ）で示している。
4. 「増加ケース (mg/L)」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各環境基準点の予測値である。
5. 「増加ケース水域平均値」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各環境基準点の予測値の平均値（全窒素の環境基準の評価値）である。
6. 「増加ケース判定」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各水域の環境基準点の達成（○）、非達成（×）を表す。なお、伊勢湾（二）は令和元年度ではⅡ類型であるため、Ⅲ類型としての達成の判定は（ ）で示している。

表 3.4 伊勢湾における全燐（年平均値）の環境基準の達成状況の比較

湾名	水域名	地点名	NP類型	令和元年度 現況(mg/L)	令和元年度 水域平均値 (mg/L)	令和元年度 判定	増加ケース (mg/L)	増加ケース 水域平均値 (mg/L)	増加ケース 判定
伊勢湾	伊勢湾(二)	N-5	Ⅱ(Ⅲ)	0.033	0.024	○ (○)	0.034	0.025	○ (○)
		N-7	Ⅱ(Ⅲ)	0.025			0.026		
		N-8	Ⅱ(Ⅲ)	0.020			0.021		
		N-9	Ⅱ(Ⅲ)	0.016			0.016		
		N-13	Ⅱ(Ⅲ)	0.014			0.014		
		津松阪地先海域St1	Ⅱ(Ⅲ)	0.033			0.035		
		津松阪地先海域St2	Ⅱ(Ⅲ)	0.026			0.027		
		津松阪地先海域St3	Ⅱ(Ⅲ)	0.027			0.029		
		伊勢地先海域St4	Ⅱ(Ⅲ)	0.027			0.028		
		伊勢湾(二)St1	Ⅱ(Ⅲ)	0.024			0.025		
		伊勢湾(二)St2	Ⅱ(Ⅲ)	0.024			0.025		
	伊勢湾(ハ)	N-6	Ⅲ	0.043	0.045	○	0.045	0.048	○
		四日市鈴鹿(甲)St3	Ⅲ	0.051			0.054		
		四日市鈴鹿(甲)St4	Ⅲ	0.042			0.046		
		四日市鈴鹿(乙)St5	Ⅲ	0.044			0.046		
	伊勢湾(イ)	N-2	Ⅳ	0.130	0.079	○	0.133	0.081	○
		N-3	Ⅳ	0.061			0.063		
		N-4	Ⅳ	0.046			0.048		
	伊勢湾(ロ)	四日市港(甲)St1	Ⅳ	0.050	0.055	○	0.054	0.059	○
		四日市港(甲)St2	Ⅳ	0.059			0.064		

- 注) 1. 「令和元年度現況 (mg/L)」欄は、令和元年度の各環境基準点の全燐の年平均値である。
2. 「令和元年度水域平均値」欄は、各水域の環境基準点の全燐（年平均値）の平均値（全燐の環境基準の評価値）である。
3. 「令和元年度判定」欄は、令和元年度の各水域の環境基準点の達成（○）、非達成（×）を表す。なお、伊勢湾（二）は令和元年度ではⅡ類型であるため、Ⅲ類型としての達成の判定は（ ）で示している。
4. 「増加ケース (mg/L)」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各環境基準点の予測値である。
5. 「増加ケース水域平均値」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各環境基準点の予測値の平均値（全燐の環境基準の評価値）である。
6. 「増加ケース判定」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各水域の環境基準点の達成（○）、非達成（×）を表す。なお、伊勢湾（二）は令和元年度ではⅡ類型であるため、Ⅲ類型としての達成の判定は（ ）で示している。

表 3.5 伊勢湾における底層溶存酸素量（年間最低値）の環境基準の達成状況の比較

地点名	底層DO類型	底層DO			
		計算結果現況		予測結果	
		R1(mg/L)	R1判定	R11(mg/L)	R11判定
N-3	生物1類型	0.00	×	0.00	×
N-4	生物1類型	0.00	×	0.00	×
N-5	生物1類型	0.01	×	0.01	×
N-6	生物1類型	0.00	×	0.00	×
N-9	生物1類型	4.12	○	4.08	○
N-12	生物1類型	0.19	×	0.12	×
N-13	生物1類型	1.77	×	1.70	×
N-15	生物1類型	4.61	○	4.55	○
四日市港(甲) St1	生物1類型	0.00	×	0.00	×
四日市港(甲) St2	生物1類型	0.00	×	0.00	×
四日市鈴鹿(甲) St3	生物1類型	0.00	×	0.00	×
四日市鈴鹿(甲) St4	生物1類型	0.00	×	0.00	×
伊勢湾(口) St1	生物1類型	0.65	×	0.58	×
四日市鈴鹿(乙) St5	生物1類型	0.00	×	0.00	×
津松阪地先海域 St1	生物1類型	2.65	×	2.50	×
津松阪地先海域 St2	生物1類型	0.07	×	0.06	×
津松阪地先海域 St3	生物1類型	1.99	×	1.89	×
伊勢地先海域 St4	生物1類型	4.19	○	4.12	○
伊勢湾(二) St2	生物1類型	2.94	×	2.87	×
伊勢湾(二) St3	生物1類型	1.09	×	0.98	×
N-1	生物2類型	0.00	×	0.00	×
N-2	生物2類型	0.19	×	0.18	×
N-10	生物2類型	0.00	×	0.00	×
N-11	生物2類型	0.00	×	0.00	×
M-1	生物2類型	0.00	×	0.00	×
M-2	生物2類型	0.15	×	0.15	×
M-3	生物2類型	0.00	×	0.00	×
M-4	生物2類型	0.00	×	0.00	×
N-7	生物3類型	0.00	×	0.00	×
N-8	生物3類型	0.00	×	0.00	×
伊勢湾(二) St1	生物3類型	0.00	×	0.00	×

- 注) 1. 「令和元年度 (mg/L)」欄は、令和元年度の広域総合水質調査を現況再現対象とした計算結果である。
2. 「令和元年度判定」欄は、各環境基準点の達成 (○)、非達成 (×) を表す。
3. 「増加ケース (mg/L)」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各環境基準点の予測値である。
4. 「増加ケース判定」欄は、汚濁負荷量を増加した場合の各水域の環境基準点の達成 (○)、非達成 (×) を表す。